

# 中宮まぶね保育園



## 9月の Newsletter

2021年9月1日発行

新型コロナウイルスの「デルタ株」は、以前のタイプとは違い、子どもにも感染し、さらに感染した子どもが感染源となり、他の子どもや家族に感染させることがわかっています。この1か月余りでも、枚方市内の保育園において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、臨時休園が多く発生しています。また、感染率も高くこれから涼しくなっていくにあたって、より感染リスクも高まり一層の感染対策が必要となってきます。園では新たに幼児クラスはマスクの着用などの対策を講じます。保護者の皆様におかれましては、子どもや同居家族に発熱などの風邪のような症状が出た場合や新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者の疑いがある場合などは、登園を控えていただきますように強く要請いたします。

ご不便をおかけしますが、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

中宮まぶね保育園 園長 松尾 太郎

日	月	火	水	木	金	土
			1 発育測定	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 体育あそび教室	14 英語あそび教室 乳児運動会予行 2歳クラス懇談	15 1歳クラス懇談	16 0歳クラス懇談	17	18
19	20 敬老の日	21	22 誕生日会 太鼓教室 無料法律相談	23 秋分の日	24 ダンス教室	25
26	27 体育あそび教室	28 英語あそび教室 乳児運動会予行	29	30		

### 【園からのお願い】

- 送迎の際、保護者は必ず吊り下げ名札を着用してください。
- 保育園は午後7時に閉まります。帰りの準備をして午後7時には園を出るようお願いします。
- 布団などは毎週末持ち帰り、天日干しをして週明けにお持ち下さい。靴・帽子の洗濯もお願いします。

### ☆苦情解決委員会☆

- ◎苦情解決責任者 松尾 太郎
- ◎苦情解決窓口担当 山本 眞理子
- ◎苦情解決第三者委員

申 英子・笹野 芳照・畑 健次郎

※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関するご相談も随時受け付けております。

### 《法人の理念》

本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて福祉サービスを提供するすべての人に仕え、日常を支援し、常に人々の人権を護り、その人の尊厳を尊重します

### 《保育園がめざす子ども像》

- ◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
- ◆相手を思いやることのできる子ども
- ◆健康で生き生きと遊べる子ども
- ◆豊かな感性を持ち、かいっぱい表現する子ども

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

## 中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

Tel./072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

## 9月生まれのおともだち

ほたる組 (1歳になります)

ちょうちょ組 (2歳になります)

てんとう組 (4歳になります)

みつばち組 (5歳になります)



## 運動会の観覧について

- 必ずマスクを着用して下さい。
- 一家族につき2名までの観覧とします。
- 自転車は駐車場に駐輪して下さい。
- 車は停められません。
- 水分補給以外の飲食は禁止です。
- 保育園内は禁煙です。
- 撮影した写真や映像のSNS等への投稿は禁止です。



### 【今月の聖書の言葉】

「私があなたがたを愛したように、  
あなたがたも互いに愛し合いなさい」  
(ヨハネによる福音書 13章34節)

「子を持って知る親心」という言葉がありますが、親の立場になって初めて分かったことが、きっとおありではないでしょうか。自分が子どもだった時、親はどんな気持ちで接してくれていたのか、など色々と思ひ出すかもしれません。もちろん、いつでも大切にしてもらえたという良い思い出ばかりとは限りませんし、今も子どもに対して自分が理想通りに接することができているかも分かりませんが、やはり「大切にされたい」という思いと、「大切にしたい」という思いの交わりの中にこそ、人の育ちはあるのではないかと思います。

イエス様は「私があなたがたを大切にしたいように、あなたがたも互いに大切にしたい」と言われました。これはイエス様がお手本を示してくれたというだけでなく、私たちがお互いを大切にできる根拠でもあります。相手に優しくしたいと思っていても優しくできなかったり、かわいいと思っていても怒ってしまうこともあります。また、どうしても好きになれないこともあるかもしれません。それでも神様はそんな私たちのことを大切にしてくれ、いつでも一緒にいてくださっています。そのことに私たちは励まされ、カづけられて、目の前の相手を大切にすることができるようにならなければならないのだと思います。

残暑は続っていますが、虫たちの音は変わってきました。変わりゆく季節の中で、私たちは今日も互いに大切にしよう歩みへと押し出されて行きます。

(チャプレン 牛田 匡)

